

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年11月21日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|---------------------|---------|--------------|-----------|--|
| 団体名 | 蘭越町 | 代表者名 | 金 秀 行 | | |
| 担当者部署 | 総務課 企画防災対策室 気候変動対策係 | 連絡先電話番号 | 0136-55-6825 | | |
| 担当者役職 | 係長 | 担当者氏名 | 山崎友資 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 0481301 北海道蘭越町258番地 | | | | |

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|--------|-------|
| アドバイザー | 藤井 智史 |
| 評価 | 大変よい |

上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)

洋上風力発電の設置にあたり、洋上風力発電所自体に海洋観測基地の機能を持たせ、様々な海洋観測を通じて、より良い社会の構築が出来ないか試みた。本事業で派遣をお願いした琉球大学の藤井教授は、日本における海洋短波レーダーの先駆者であり、いくつかの場所でも実績があり、近々では、津軽海峡の観測で、函館市の汐首に設置した例があります。本事業では、洋上風力発電の海洋観測の基地化に向けて、海洋短波レーダーを設置できないか検討・議論した。結果、メンテナンス性も考慮して、陸上基地局として機能させるのが良い、といった結論に至った。そこで、北海道西岸の約200kmの範囲について、海洋短波レーダーを設置できないか否かについて、現地調査を行った。結果、敵地と見られる場所を見出し、設置場所の選定

アドバイザーへの要望事項

沖根から北海道といった、長距離の移動にもかかわらず、期間中は北海道の西岸約200kmの間に、船に設備場所を見出すため、現地調査をしていた。アドバイスを依頼する側としては、大変ありがたいですが、無理のない範囲で協力していただきたいと思い、大変申し訳なかった。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日(申請書より) | 支援内容(申請書より) | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|-------------|---------------|--------------------|--------------|-----------|----------|
| | 令和4年10月2日 | 事前打合せ(実地) | 有 | 令和4年7月24日 | 1002 |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) |
| | 令和4年11月1日 | 事前打合せ(実地) | 9時00分 | 18時00分 | 60 |
| | | | | 活動時間(分) | 480 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 蘭越町役場 | 最寄駅 | 蘭越駅 | |
| | 所在地 | 北海道磯谷郡蘭越町蘭越町258番地5 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

| | |
|------|--------------------------------------|
| 掲載許可 | <input checked="" type="radio"/> 掲載可 |
|------|--------------------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|----------------|-------------------------|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員・一般・企業(オンライン含む) | 21人 |

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | 洋上風力発電の海洋観測の基地化は、日本において実例が無く、世界においても少ない。海洋立国である日本において、次世代のクリーンエネルギーの候補として洋上風力発電は無視できない。このことから、洋上風力を海洋観測の基地として機能させれば、海洋の様々な情報を入手することが出来る。周囲を海洋に囲まれた日本においては、このような観測手法の確立や実践について、リーダーシップを取って進める必要があるが、実施に至っていない。 |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | 洋上風力発電に海洋短波レーダーを設置し、近海の海洋表層における水の流れについて、広範囲に観測したいと考えている。単なる話し合いだけではなく、次年度の実践に向けた計画も立てたい。 |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | 洋上風力発電の設置には時間が掛かる。設置にあたり、海洋短波レーダーで得られるデータは、洋上風力発電の設置者にとっても必要な情報となる。まずは、陸上の基地局として設置し、データ収集を行い、これらのデータも使いつつ、洋上風力発電設置のための基礎データや、海洋観測を行えば良いのでは、といったアドバイスをいただいた。アドバイスに基づいて、陸上観測基地局として、適当な場所をgooglemap等の衛星画像を用いて選定し、現地調査を行った。 |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | 目標に向けて、具体的な計画の策定に繋がった。 |

| | |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (具体的にご記入下さい) | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ①事業に係る計画書等を策定できた |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 全てにおいて解決することができた。次年度、計画の実施にあたり、本事業を活用して進めたい。 |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 内容が専門分野のため、なかなか理解できる職員が居なかったため、アンケートの実施を行わなかった。 |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 令和5年度に、蘭越局のレーダー観測基地の設置、令和6年度に泊局のレーダー観測基地の設置を行い、得られたデータから、北海道西岸における対馬暖流の観測、魚類分布の予測、マイクロプラスチックの分布予測、洋上風力発電設置のための基礎データ、これらのデータを基本とした様々な調査 |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



